

令和6年度福島県農業総合センター農業短期大学校評価表

重点 目標	現状と課題	評価項目	主担当	具体的方策及び評価指標	自己評価		
					経過・達成状況	評価	次年度の課題と改善方策
研修受講率及び満足度の向上	<p>【視点1】 研修の受講者数は増加傾向にあるが、農業者の研修ニーズは年々変化しており、これに対応した研修機会の提供が必要となっている。</p> <p>【視点2】 研修内容は関係機関、農業者へには周知されているものの、HPや県メディア等を積極的に活用し情報発信し、農業研修施設であることを関係機関、農業者等に認知してもらう取組が必要となっている。</p> <p>【研修受講者の推移】 ()は主催研修定員充足率 令和5年度 376名 (75%) 令和4年度 339名 (75%) 令和3年度 340名 (95%) 令和2年度 329名 (88%) 令和元年度 423名 (74%) 平成30年度 577名 (88%) 平成29年度 490名 (85%) 平成28年度 527名 (74%) 平成27年度 492名 (81%)</p> <p>【視点3】 研修ニーズの多様化、高度化に伴い、指導にあたる教職員の指導力の向上や施設・設備を含む教育環境の充実に取り組む必要がある。</p> <p>【視点4】 研修受講後の研修受講者の経営拡大等については把握できていないことから、農林事務所と連携を図りながら研修受講後の研修成果の把握による効果確認を行う必要がある。</p>	(1) 農業者等のニーズに応じた研修体系の構築	研修計画検討委員会	<ul style="list-style-type: none"> ● 農林事務所や関係機関との連携による研修ニーズの把握と連携強化 <ul style="list-style-type: none"> ○研修計画検討委員会の開催：2回 ○研修計画検討会議の開催：1回 ○農林事務所との連携：通年 ○主催研修充足率：80%以上 ● 新しい研修体系の構築 <ul style="list-style-type: none"> ○施設等整備委員会の開催：1回 ○スマート農業推進委員会：1回 			
		(2) 機会を捉えた研修情報の発信	研修部 376	<ul style="list-style-type: none"> ● 学校HP等による情報発信 HP等により研修の実施内容を積極的に情報発信し、研修希望者の受講の参考となるよう、定期的な更新と内容の充実を努める。 <ul style="list-style-type: none"> ○HP更新件数：5回以上 ○農林事務所資料への研修計画・内容掲載：全農林事務所 ○市町村HPへのリンク：全市町村 ○研修チラシ・ポスター配布：2回 ○マスコミへの投げ込み：10回以上 ○長期就農研修のPR：5回以上 			
		(3) 職員の技術・指導力の向上	研修部	<ul style="list-style-type: none"> ● 研修内容の充実を目指した指導力の向上 指導内容の充実を努めるとともに、指導のための資格取得、研修の受講を進める。 <ul style="list-style-type: none"> ○国主催研修の受講 ○指導に必要な資格・免許取得 ○指導力向上のための研修受講 			
		(4) 研修後の成果・効果の把握	研修部	<ul style="list-style-type: none"> ● 研修受講後の効果・成果の把握 <ul style="list-style-type: none"> ○受講後のアンケート調査実施（全研修） ○農林事務所との連携による成果把握（就農状況、商品開発等） 			